

2学期スタート！

39日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。1学期の終業式では、「今年の夏はこれを頑張った！」と胸を張って言えることに何か1つ取り組んでください」という話をしました。この夏休み中、部活動に汗を流した人、受験勉強に打ち込んだ人、家族や友人との思い出を作った人、それぞれ充実した時間を過ごせたでしょうか？

長かった休みから気持ちを切り替えるのは少し大変かもしれません。体調管理に気を配り、焦らず少しずつ学校の生活リズムを取り戻していきましょう。皆さんがこの2学期で大きく飛躍することを期待しています。

さて、この夏休み中、全国各地で大きな地震や記録的な豪雨など、自然災害が相次いで発生しました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、私たちの暮らすこの大阪でも「いつ何が起こってもおかしくない」という気持ちをもって、「備え」しておく必要があると感じました。まずは、こうしてみなさんと元気に顔を合わせ、学校生活を再開できる「当たり前の日常」がいかに貴重であるかをかみしめたいと思います。

2学期は体育大会や文化発表会をはじめ、行事も多く一年で最も活気にあふれる時期です。当たり前に過ごせる毎日や、共に学ぶ仲間の存在に感謝し、一日一日を大切に積み重ねていきましょう。そして、困っている人がいたら声を掛け合い、互いに支え合える温かい学校をみんなで作っていきましょう。

イチロー選手の言葉から

みなさんはイチロー選手を知っていますか？日米通算 4,367 安打という圧倒的な記録を残し、2025 年日本人で初めて MLB 野球殿堂入りを果たした伝説的な選手です。彼は、殿堂入りのスピーチの中で「夢」と「目標」について次のように語っていました。

『子どものころ、私の夢は常にプロ野球選手になることでした。6年生のときに作文にも書きました。今、経験したことを踏まえ、その作文を書きなおすことができるなら、「夢」という言葉ではなく「目標」という言葉を使うでしょう。夢は実現するとは限りませんが、目標はそれをどのように達成するかを真剣に考えれば、実現する可能性があるものです。夢を抱くことは楽しいですが、目標を達成することは難しいし、困難にもぶつかります。本気で達成したいなら「こうしたい」と言うだけでは叶いません。達成するために何が必要かを慎重に考えなければなりません。（中略）夢を目標に変えるには、達成するのに何が重要かを誠実に考えることです』

彼の座右の銘は「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」という言葉です。彼も最初から特別だったわけではありません。毎日同じ準備をし、1打席1打席、1球1球を大切に重ねてきた結果が、あの偉大な記録へとつながったのです。これは、私たちの学校生活でも同じです。これから控えている定期テストや学校行事に向けて、「何から手を付ければいいのかわからない」と不安になることもあるかもしれません。でも、最初から完璧をめざす必要はありません。「今日、英単語を5つ覚える」「提出物をきちんと出す」など、今できる小さなことを着実に積み重ねていきましょう。この小さな一歩の積み重ねが、「目標」の達成へと続いていくのです。

今日からできること、一つずつ始めてみませんか？